

第130期生 表彰式 挨拶

日 時 平成29年2月28日（火）
場 所 福島県立安積高等学校第一体育館

先ほど各賞を受賞された生徒諸君、本当におめでとう。
改めて私の祝福の気持ちを伝えたいと思います。

ここ安積で勉強にしっかり取り組み、部活動でも頑張る「文武両道」は、
「言うは易く行うは難し」の言葉どおりで本当に大変なことだが、生徒諸君
はよくやっている。（因みに、「文経武緯」（松山東高のモットー）とも）

先程、表彰を受けた生徒諸君は言うまでもないが、
県大会・東北大会・全国大会出場を果たせなかった、また、残念ながら今回の
受賞には至らなかった部・同好会の生徒諸君も、それぞれ自己ベストの更
新を目指して、或いは、今までで最高レベルのパフォーマンス・成果を上げ
るべく、大変な努力を継続してきたことと思う。

このことは、これからの長い人生の中で、様々な場面で生きてくる
はずだが、順風満帆とは行かないのが人生の常。
そのようなときに思い出してほしい言葉を紹介します。

3年生がまだ初々しい1年生だった2年前の平成26年度、130周年記
念行事の余韻が残る中、10月18日（土）に、京都大学名誉教授で、
数学界のノーベル賞と言われるフィールズ賞受賞者である広中平祐氏の講演
会が、旧本館で開催された。その時の広中先生の言葉、

「人間に未来は見えない、しかし、未来はあなたが創るもの」と、

講演後、色紙に揮毫していただいた童話作家小川未明の言葉、

「雲の如く高く　くものごとく輝き　雲のごとくとらわれず」

この「未来はあなたが創るもの」「雲の如く高く、輝き、とらわれず」は、
開拓者精神と自主自律の安積魂スピリッツを身につけて、高い志を持つ、
安積の生徒に相応しい言葉なので改めて紹介した。

私も、生徒として3年、教師として11年、校長として4年の計18年間
お世話になった安積に別れを告げ、130期生と共に安積を卒業します。

最後になりますが、私がクラス担任をした103期生の教室に掲げた言葉
でもあり、130期生には2年生のときから、
繰り返し語りかけた言葉をもう一度

Concentration、Continuation、& Completion

集中し、継続し、完成へ、そして更なる完成へ

（完成はあくまでもその時点でのものであって、我々の「志」
は、限りなく高いレベルに向かっていくはずです。）

ここにいる安積の生徒諸君すべてが、更なる高みを目指していくことを
期待して私の話を終わります。